

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療心理科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	精神保健福祉特論 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	前期 金曜1限	教室名	5校舎8階
担 当 教 員	飯塚 稔・専任	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
心理研究についてより深く理解し、卒業研究の内容に反映できることを目標とする。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験の点数70% 出席点20% 提出物・受講態度点10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
適宜プリント配布 参考図書: 『心理学検定-基本キーワード改定版-』(日本心理学諸学会連合, 2015, 実務教育出版社) 『臨床心理学 研究の技法』(福村出版社)						
《授業外における学習方法》						
参考図書を読むこと。自分自身のテーマに近接する論文に数多く触れ、理解する。						
《履修に当たっての留意点》						
研究法について学習するとともに、自分自身の卒業研究テーマを選択し、卒研チームを構成する。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	オリエンテーション 研究の方法論を理解することができる。	テキストと参考資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。	
		各コマにおける授業予定	臨床心理学研究の基本を学習する①			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	データ収集の基本技法について理解することができる。	テキストと参考資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。	
		各コマにおける授業予定	臨床心理学研究の基本を学習する②			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	データ処理の基本技法について理解することができる。	テキストと参考資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。	
		各コマにおける授業予定	臨床心理学研究の基本を学習する③			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	実践を通じた記述的研究について理解することができる。	テキストと参考資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。	
		各コマにおける授業予定	臨床心理学の研究法について学習する①			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	実践を通じた記述的研究について理解することができる。	テキストと参考資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。	
		各コマにおける授業予定	臨床心理学の研究法について学習する②			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	実践を通じた記述的研究について理解することができる。	テキストと参考資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	臨床心理学の研究法について学習する③		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	実践を通じた記述的研究について理解することができる。	テキストと参考資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	臨床心理学の研究法について学習する④		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	実践を通じた記述的研究について理解することができる。	テキストと参考資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	臨床心理学の研究法について学習する①		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	実践を通じた記述的研究について理解することができる。	テキストと参考資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	臨床心理学の研究法について学習する②		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	実践を基づく統合的研究について理解することができる。	テキストと参考資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	臨床心理学の研究法について学習する③		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	実践を基づく統合的研究について理解することができる。	テキストと参考資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	臨床心理学の研究法について学習する④		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	実践に関する評価的研究について理解することができる。	テキストと参考資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	臨床心理学の研究法について学習する⑤		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	実践に関する評価的研究について理解することができる。	テキストと参考資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	臨床心理学の研究法について学習する⑥		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	実践で参照する統制的研究について理解することができる。 (社会行動研究・認知的実験研究・生物学的研究)	テキストと参考資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	臨床心理学の研究法について学習する⑦		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	研究法について学び、自身の卒業研究テーマについて選択	テキストと参考資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	自ら学んだことを記述する。		